

高井泰令「蒔絵の世界」

江戸の蒔絵 3流派を受け継ぐ

7月14日「木」

～8月21日「日」

午前9時～午後7時
月曜休館（月曜が祝日の場合はその翌日）

観覧料

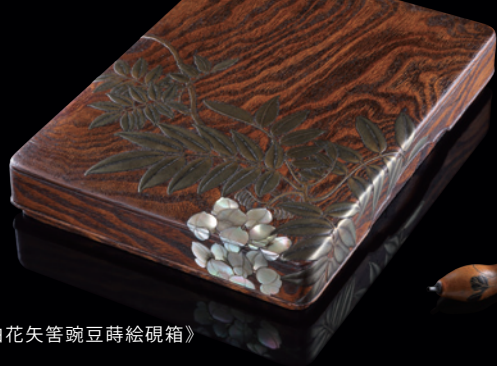
一般個人 500円

大学生・高校生 200円

中学生以下 無料

※あゆむ年間バスポート提示で200円引き

※大学生以下のかたは学生証・生徒手帳をご提示ください



《白花矢筈豌豆蒔絵硯箱》



《百合蒔絵乾漆箱》

ギャラリーートーク

※当日の観覧券が必要です

7月24日（日）午後2時から

◎講師 三田村有純氏

東京藝術大学名誉教授
江戸蒔絵赤塚派10代



マスク
着用にご協力をお願い致します

会場・主催・問い合わせ

白鷹町文化交流センターAYu:M

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町鮎貝7331
TEL: 0238-85-9071

あゆむ

高井泰令「蒔絵の世界」

江戸の蒔絵 3 流派を受け継ぐ

江戸から明治・大正・昭和と受け継がれてきた江戸の蒔絵の伝統が、いま消えなんとしています。本展覧会は江戸の蒔絵 3 流派を受け継ぎ、洒脱な蒔絵の道を極めた高井泰令（1881〜1971）の作品を一堂に展示する初の試みです。

泰令は、漆芸の師（父親の得好斎、最も影響を受けた池田泰真、その師の柴田是真、姉が嫁いだ赤塚自得）などそれぞれの流派の師に恵まれて様々な技法を習得しました。本展は泰令の作品を中心に、これらの師の作品や更には親戚でもあり心の友でもあった三田村自芳の作品などを併せて展示し、時代を彩り連綿と受け継がれてきた江戸蒔絵の華麗な流れを回顧し、次世代に伝えようとする試みです。



本名：高井茂治 銘：泰令
明治14年（1881年）～昭和46年（1971年）



《蝶まきえ 額》



《白花矢筈豌豆蒔絵硯箱》



■ 関連書籍

『欧米に愛された蒔絵師 高井泰令』

出版年月：2021年9月
定価：4,400円（税込）
著者：三田村有純
出版社：藝祥

AYu:M 年間パスポート

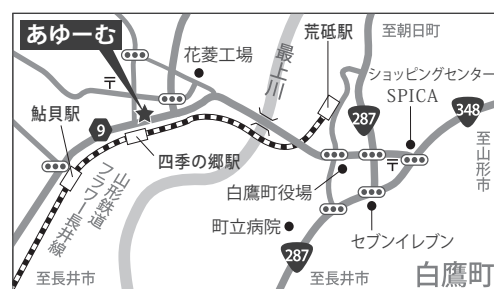
年会費 **2,000** (税込) 円で **3つの特典**

- 特典1** 観覧料200円のギャラリー展示は無料(何回見ても可)
- 特典2** 観覧料201円以上のギャラリー展示は200円引き(団体割引との併用は不可)
- 特典3** あゆ一むホールの有料イベントはチケット料金を500円引き
(会場での本パスポート提示により500円を返金)

あゆ一むまでお申し込みください

- ※有効期限：本年4月1日～翌年3月31日
- ※パスポート登録者本人のみ有効
- ※あゆ一むが主催あるいは共催する事業に限ります
- ※あゆ一むカレッジの事業（うたごえ喫茶・アートキッズ団など）は適用外です

アクセス



白鷹町文化交流センターAYu:M

- [車] 山形市より国道348号線で約35分
- [電車] 赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線「荒砥」行「四季の郷駅」下車（赤湯駅から約50分）徒歩約4分
- [お問合せ] 0238-85-9071